



MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター



チームを組み、時間と戦いながらスキットルズというキャンディーを色で分けて相手チームと勝負するゲームの様子

日本ではクリスマスは恋人と過ごす日だという認識を持っている人が多いと思うんですが、ハワイでは家族と過ごすことが一般的で、恋人や親戚を含め大人数で集まることを意味する場合がありますし、親戚だけで静かなクリスマスを過ごす人もいます。うちの場合は前者の方に当てはまり、クリスマスにはみんなで色々なゲームをやります。広い意味で自分にとって大切な人たちと時間を共有することが普通なので、おそらくアメリカには「クリぼっち」という言葉やその概念自体も存在しないかもしれません。



左上から時計回りで、スクイッドルアウ、ハウピア、オピヒ、チキンロングライス、ロミサーモン、カルアピッグ、ラウラウ、ポイ

大晦日の夜、少人数で集まってハワイの伝統料理を食べました。オピヒは自分たちでモロカイ島のあるビーチの岩場で採った海の貝で、バーベキューグリルで焼いて食べることが多いですが、採ったその場で生で食べてしまう人もいます。紫色のポイは、水畑で育つタロイモという植物でハワイ先住民にとって重要な主食から作り、その球茎を蒸してペースト状にした食べ物です。ぜひトライしてみてください！

元旦の朝は母が毎年作るお雑煮、黒豆、蕎麦、刺身、羊羹、餅などをいただきました。黒豆は健康のため、蕎麦は長生きするため、そしてお雑煮は幸運のために食べると、母が毎回言います。日本人の多くがお正月に食べるものを、家庭によってはハワイに住んでいる日系人も食べることがありますが、ウベタルトやバター餅など、日本人の食卓に出る確率が低いものも食べます。

